



進取

友達と協力、恐れず挑戦

校長 東 徹郎

2学期に子供たちに頑張ってもらいたいこととして、始業式で「友達と協力、恐れず挑戦」について話をしました。2学期はいろいろな行事がありますが、様々な行事を体験しながら、「友達と協力、恐れず挑戦」の気持ちで頑張ってもらいたいと思ったからです。

26日(日)の秋季大運動会には、多くの保護者の皆様や地域の皆様にお越しいただき、温かい声援やねぎらいの拍手、準備や片付け等の運営にも御協力をいただきありがとうございました。

6年生が素晴らしいリーダーシップを発揮し、引き締まった運動会になったと自負しております。もちろん他の学年の児童も、精一杯走ったり演技をしたりして、「友達と協力、恐れず挑戦」を実行し、阿久根小学校の子供らしい姿を存分に見せていたと感じております。

また「華の50歳組」の皆様には、時間制限等がありながら、運動会を大いに盛り上げていただくとともに、あいさつ運動、準備や片付け等たくさんのご協力、さらには、スポットクーラーを2台寄贈していただき、大変感謝しています。ありがとうございました。

令和7年度全国学力・学習状況調査結果

各教科平均正答率

国 語			算 数			理 科		
本校	県	全国	本校	県	全国	本校	県	全国
67%	67%	66.8%	61%	57%	58.0%	58%	60%	57.1%

上の表は、6年生を対象に4月に実施された全国学力・学習状況調査の結果です。

本校の児童は、3教科共に、全国平均を上回っています。特に算数では3ポイント上回る結果でした。観点別では「知識・技能」は全国平均より高いものの、「思考・判断・表現」が低い結果でした。特に国語での「話すこと・聞くこと」で3ポイント、「読むこと」で5ポイント低い結果でした。

本校では、対話を通じた活動で、考えを深めていく活動として「スクラムタイム」を設けています。ペアやグループになり、意見を出し合い自分の考えを伝えたり他の人の意見を参考にしたりする取組です。しかし、実際には意見を言う児童に限られていたり、逆に意見を言えないままの児童がいたりして、「スクラムタイム」が活性化していない場面が見られ、改善すべき課題の一つです。

また、読書量については、年間で「低学年100冊、中学年80冊、高学年60冊」を目標に取り組んでいます。150冊以上読んでいる児童もいますが、0冊の児童もいます。読む力を高めることで、語彙力が高まり、話す力・聞く力の高まりにもつながります。読書冊数の目標を達成できるように声かけをしていきます。

各御家庭においても、日頃から、会話を通してコミュニケーションを増やしたり（例えば、食事中はテレビを消して、会話する）、家族で読書に親しむ時間を設けたり（読み聞かせをする）するなど、言語活動の時間を増やしてみてください。すぐに結果は出ないかもしれませんが、積み重ねることで子供たちの「思考・判断・表現」の力の伸びを実感できるようになると思います。

【お知らせ】

NTT 西日本より公衆電話の設置基準に関する法令等の見直しに伴って、体育館の入口に設置してある公衆電話が撤去されることになりました。連絡手段の一つとして活用されていた御家庭もあったかと思ひます。お知りおきください。